

# 福珠のモマ

福津の極みに認定された工芸事業者たちが、皆さんにふくをお届けします。モマをかたどった可愛らしい逸品を、手にとってはいかががでしょうか。

昔から市内ではフクロウのことをモマと呼んでいました。一説には、茂間と書き、暗闇が茂る、つまり真つ暗闇のことを表しているようです。真つ暗闇に存在を示す声で「ホウホウ」と鳴く、そんなところから「モマ」と呼ばれたのでしょうか。

そしてこの地域には、山中で道に迷った正直者がモマの鳴き声に誘われ、ついで行くと「金の玉」を授かったとされる、モマにまつわる話も伝えられています。「正直に生きれば福（金の玉）が授かる」とモマは珍重され、宮地嶽神社にもモマ伝承をもとに、フクロウの土笛を開運の守り神として参拝客に授けてます。

このたび、福津の極みに認定されている工芸事業者たちが、福津市の特長ある工芸品を製作しようと、このモマ伝承をもとに「福珠のモマ」と題して、オリジナルの作品を作りました。商売繁盛だけでなく、開運招福・家内安全・無病息災の願いを込め、皆さんに愛される縁起物となるように心を込めて作った、福津ならではの逸品です。

## なぜモマが愛され、選ばれたのか

モマ（ふくろう）は、不苦労、富来郎や福来郎と字を組み合わせて表すことができ、幸福や富を呼ぶものと考えられてきました。さらに、闇でも夜目が利き首も良く回ることから、先が見通せ、お金の困らず商売繁盛（お金に困り首が回らないとの対比で）とされ、縁起の良い鳥とされてきました。



▲福津市で古くから製作されている津屋崎人形のモマ笛



## 福珠のモマを販売します

- 販売日時** 平成27年1月4日(日)、5日(月) 9:00~16:00
- 場所** 宮地嶽神社境内
- 販売価格** 4,000円~30,000円(税別)
- 販売数** 各事業者ごとに数に限りがあります



ふくふくちゃんも、モマ伝承より生まれたキャラクターです

### 筑前津屋崎人形巧房 原田 誠

ふくろうはその名に「福」を持つことから、苦難を除き幸運を招く吉鳥とされています。「福珠のモマ」は、先祖代々受け継がれてきた、明治時代のモマ笛（フクロウ型の笛）の原型を参考にして作り上げました。神聖なイメージから「福珠のモマ」は白をベースとし、清楚な感じの作品に仕上げられています。心を込めて製作した「福珠のモマ」にあらゆる願いを託してみませんか。



### マルティグラス 杉岡 良紀

この企画が始まったとき、とても心が躍りました。「新しい作品はどんな作品に仕上がるだろう」と頭の中でイメージし、実際に作業しながら試行錯誤するので、出来上がったときは感極まります。この「福珠のモマ」を見てくれた人、買ってくれた人たちがこの作品によりコミュニケーションが生まれ、笑顔で幸せになってくれたらいいなあと思いつながりを作りました。



## モマに込めた作り手たちの思いとは

### 花祭祭 藤吉 憲典

私は3年前に津屋崎に移住し工房を開きました。初めて「モマ笛」を見たときから、その愛らしさと、地域に根付いた工芸の存在が素晴らしいと感じていました。今回「福津の極み」工芸事業者の一人としてモマ伝承を表現することになり、わくわくしています。愛らしさと気品を備えた「福珠のモマ」をお届けします。



### 陶芸工房 夢かこ 渡 里美

ふくこいねこと同じ招福ものとして「福珠のモマ」を製作しました。多くの人に幸せをもたらすよう、思いを込めて一つ一つ丁寧に仕上げています。かわいいモマが幸運の金の玉を皆さんに差し上げるしぐさをデザインしましたので、これを見て癒されること間違いなしです。思わず笑顔にもなりますよ。色は、白・茶・黒と3色ありますので、お好みの物をお選びください。贈り物にも最適です。

